

新型コロナウイルス感染症の現状と、 この夏を安心して過ごしていただくための取組

令和4年8月10日(水)

第34回 奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

6月下旬以降、奈良県では新規感染者が急増し、その波は第6波を大きく上回る状況となっています。

第6波から主流となっているオミクロン株は、現在ではBA. 5系統が中心となっており、その特性として、**感染力は非常に強いものの、重症者の発生や、亡くなられた方のうちコロナが直接の死因と認められた方の割合は低く、実態を踏まえて冷静に対処することが必要です。**

4月から運用している奈良県独自の療養先トリアージ基準は、医療関係者のご努力によって正常に機能しており、**直ちに医療体制が困難となる状況ではありません。**

しかしながら、**新規感染者数が高い水準で推移していることに対応するため、県では体制の整備を図っています。**

奈良県では、**実態に即した対策を行うことにより、社会経済活動を維持しながら感染の拡大に対処していきます。**

これから、お盆の時期を迎え、人の移動が活発になります。**県民の皆様には、この夏を安心して過ごしていただくために、基本的な感染予防対策の徹底を、改めてお願いいたします。**

I 奈良県の現状

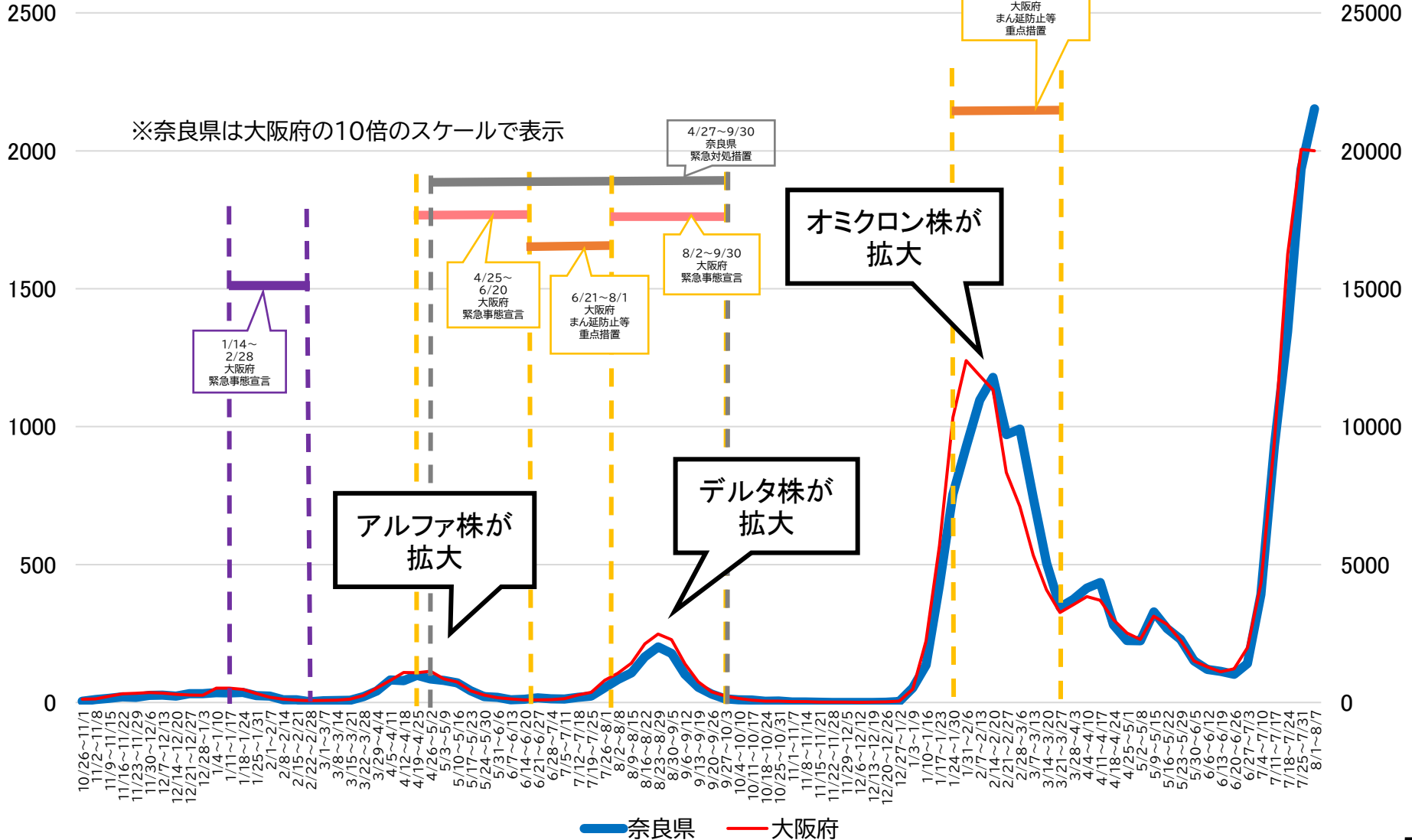
1. 感染動向

奈良県では大阪府と同様に、6月下旬以降、新規感染者数が急激に上昇しています。

大阪府と奈良県の新規感染者数の推移(発表週別の1日平均)
令和2年10月26日～令和4年8月7日

奈良県

大阪府



※大阪府の感染者数は大阪府公表資料をもとに奈良県で算出

日別新規感染者数(奈良、滋賀、大阪)

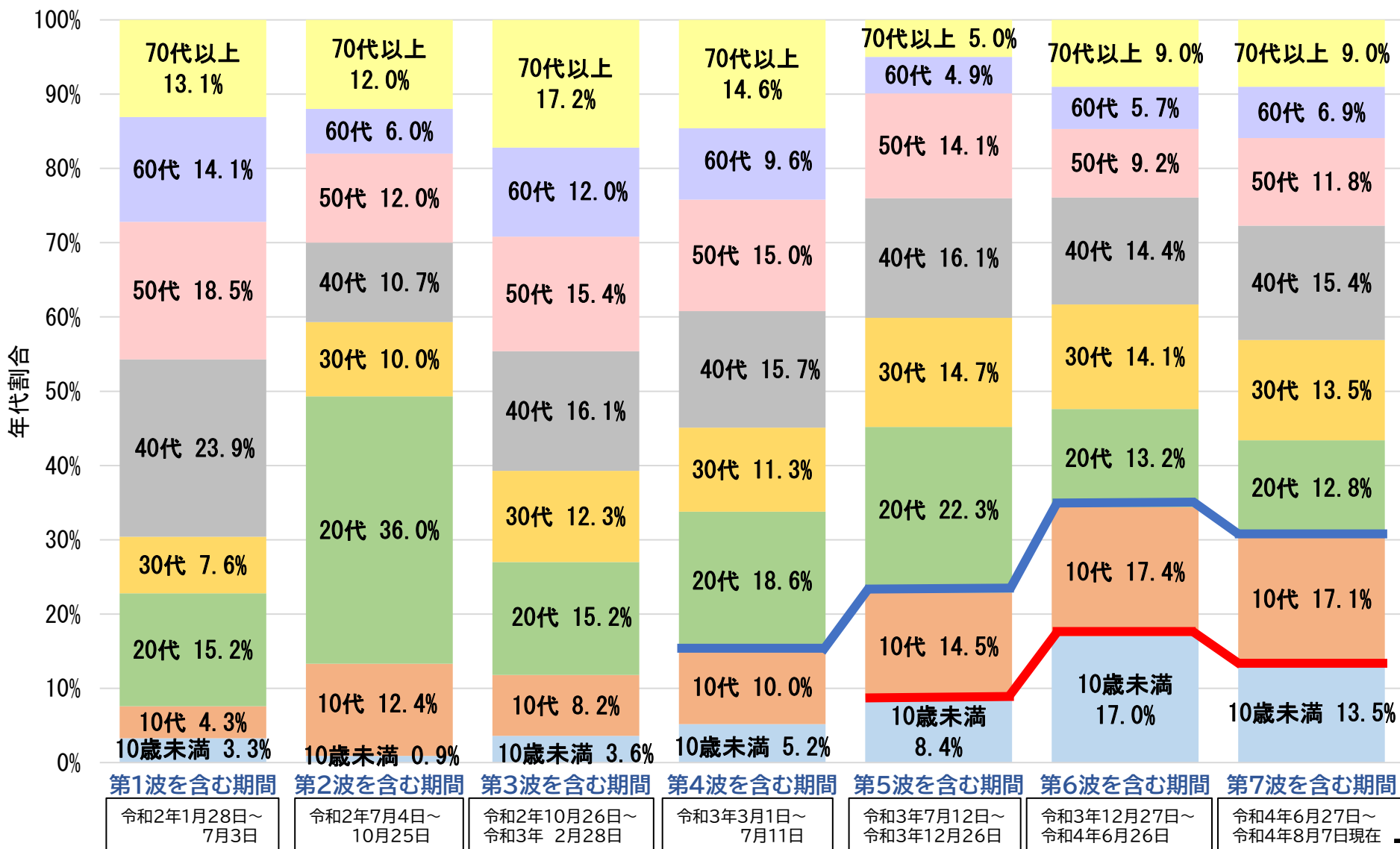
	月	火	水	木	金	土	日	週計
	<u>6/27</u>	<u>6/28</u>	<u>6/29</u>	<u>6/30</u>	<u>7/1</u>	<u>7/2</u>	<u>7/3</u>	<u>6/27~7/3</u>
奈良県	110	48	143	199	153	163	171	987
滋賀県	76	148	211	200	152	272	125	1,184
大阪府	585	2,301	2,222	2,193	2,134	2,545	2,009	13,989
	<u>7/4</u>	<u>7/5</u>	<u>7/6</u>	<u>7/7</u>	<u>7/8</u>	<u>7/9</u>	<u>7/10</u>	<u>7/4~7/10</u>
奈良県	169	107	459	445	461	505	593	2,739
滋賀県	174	363	396	404	333	352	401	2,423
大阪府	1,150	4,522	4,620	4,615	4,805	5,566	5,080	30,358
	<u>7/11</u>	<u>7/12</u>	<u>7/13</u>	<u>7/14</u>	<u>7/15</u>	<u>7/16</u>	<u>7/17</u>	<u>7/11~7/17</u>
奈良県	607	292	1,036	1,148	1,004	1,227	1,193	6,507
滋賀県	808	740	731	1,056	990	741	991	6,057
大阪府	2,514	9,956	10,450	9,956	9,745	12,350	10,804	65,775
	<u>7/18</u>	<u>7/19</u>	<u>7/20</u>	<u>7/21</u>	<u>7/22</u>	<u>7/23</u>	<u>7/24</u>	<u>7/18~7/24</u>
奈良県	1,040	749	752	1,639	2,096	1,585	1,549	9,410
滋賀県	1,054	876	1,366	1,311	1,760	1,243	1,506	9,116
大阪府	4,859	5,019	21,973	22,045	19,947	22,498	17,438	113,779
	<u>7/25</u>	<u>7/26</u>	<u>7/27</u>	<u>7/28</u>	<u>7/29</u>	<u>7/30</u>	<u>7/31</u>	<u>7/25~7/31</u>
奈良県	2,218	1,333	1,551	2,100	2,487	2,124	1,717	13,530
滋賀県	1,290	1,663	2,195	2,204	2,302	2,181	2,638	14,473
大阪府	7,785	25,747	21,857	24,287	21,386	22,829	16,471	140,362
	<u>8/1</u>	<u>8/2</u>	<u>8/3</u>	<u>8/4</u>	<u>8/5</u>	<u>8/6</u>	<u>8/7</u>	<u>8/1~8/7</u>
奈良県	2,306	1,825	1,756	2,400	2,485	2,476	1,816	15,064
滋賀県	2,130	2,997	2,238	2,726	2,896	2,655	2,271	17,913
大阪府	7,281	25,130	24,038	22,370	20,327	22,549	18,309	140,004
	<u>8/8</u>	<u>8/9</u>	<u>8/10</u>	<u>8/11</u>	<u>8/12</u>	<u>8/13</u>	<u>8/14</u>	<u>8/8~8/14</u>
奈良県	2,369	2,053						4,422
滋賀県	2,025	2,185						4,210
大阪府	8,164	25,296						33,460

	6/27~8/9 計	比率※
奈良県	52,659	-
滋賀県	55,376	1.05
大阪府	537,727	10.21

※奈良県を1とした場合の比率

新規感染者を年代別にみると、第4波以降、**20代未満**の割合が高くなっています。
 また、第6波以降では、第5波と比べて**10歳未満**の割合が高い状況にあります。

新規感染者年代別内訳



※表示単位未満を四捨五入しているため、数値の計が100%とならない場合がある。

2. 医療提供体制

オミクロン株(第6波以降)では、それ以前に比べて重症化する割合が低い状況にあります。

奈良県における重症化率の推移

6.52%

3.00%

3.37%

3.76%

1.23%

0.43%

0.10%

第1波を含む期間
(158日)

第2波を含む期間
(114日)

第3波を含む期間
(126日)

第4波を含む期間
(133日)

第5波を含む期間
(168日)

第6波を含む期間
(182日)

第7波を含む期間
(37日)

1日あたり新規感染者数
0.582名
1日あたり重症者数
0.038名

1日あたり新規感染者数
4.68名
1日あたり重症者数
0.14名

1日あたり新規感染者数
21.69名
1日あたり重症者数
0.73名

1日あたり新規感染者数
38.40名
1日あたり重症者数
1.44名

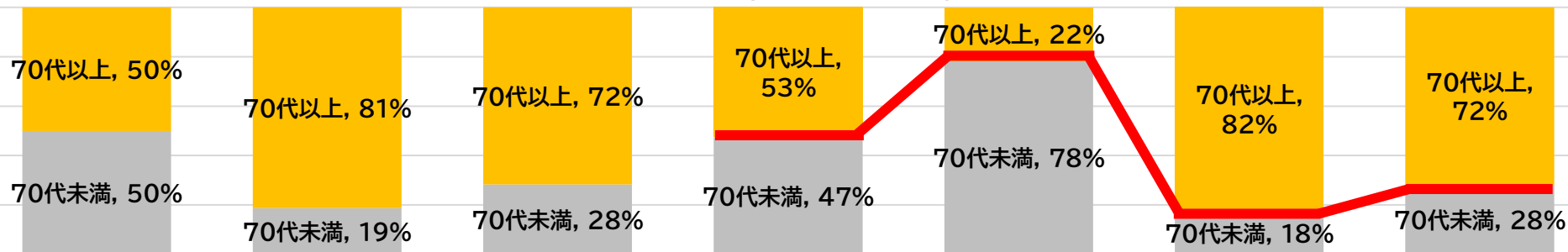
1日あたり新規感染者数
44.51名
1日あたり重症者数
0.55名

1日あたり新規感染者数
438.38名
1日あたり重症者数
1.88名

1日あたり新規感染者数
1008.22名
1日あたり重症者数
0.97名

重症者の年代内訳は、アルファ株(第4波)、デルタ株(第5波)に比べて、70代以上の高齢者が非常に多くなっています。

重症者の年代内訳



第1波を含む期間

第2波を含む期間

第3波を含む期間

第4波を含む期間

第5波を含む期間

第6波を含む期間

第7波を含む期間

※第7波を含む期間は令和4年8月2日時点の数値

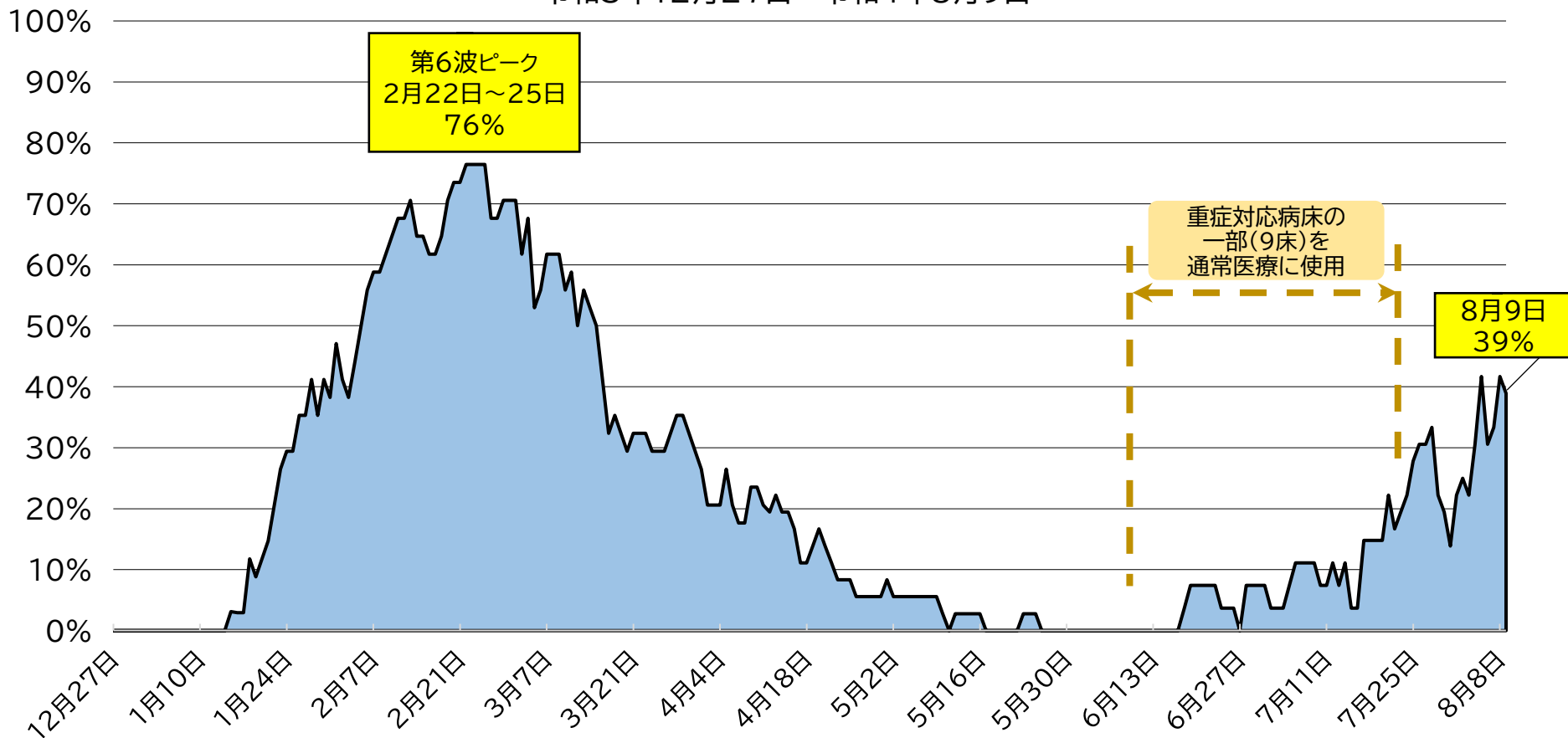
※表示単位未満を四捨五入して表示しているため、計算値が一致しない場合がある

※重症者には死亡者含む

現在、重症対応病床の占有率は39%となっており、空き病床に多少の余裕がある状況です。

重症対応病床の占有状況

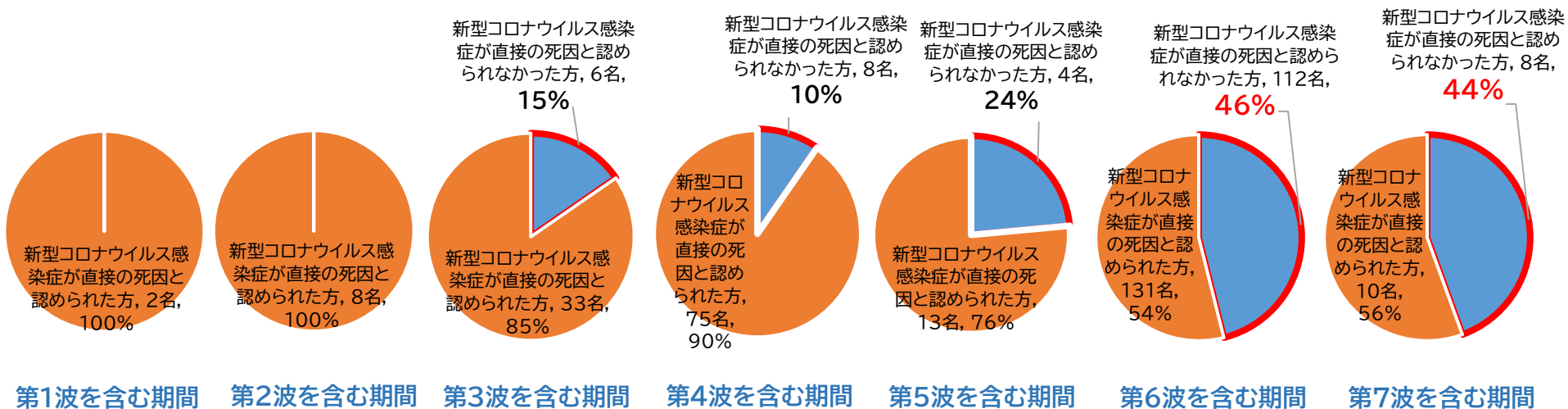
令和3年12月27日～令和4年8月9日



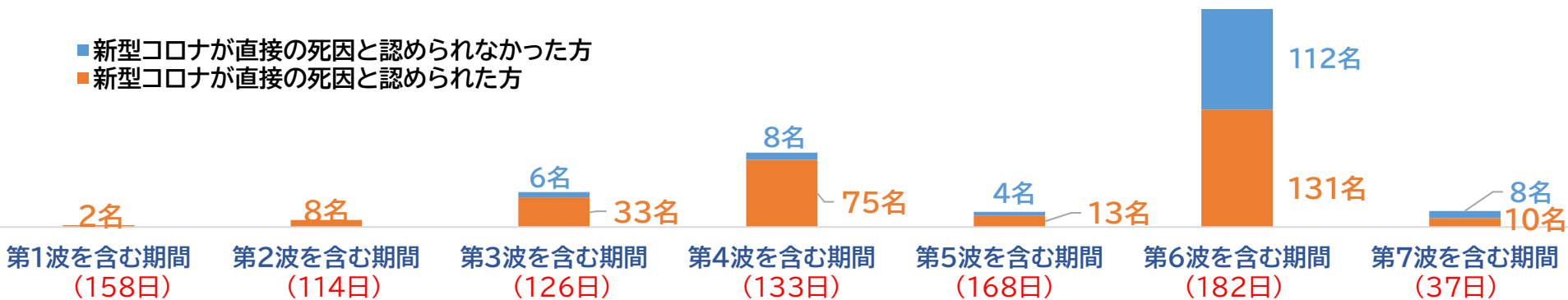
令和3年 (2021年) 令和4年 (2022年)

オミクロン株(第6波以降)では、亡くなった方のうち、直接の死亡原因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった方の割合が増加しています。

死因別内訳



奈良県における死亡者数の推移

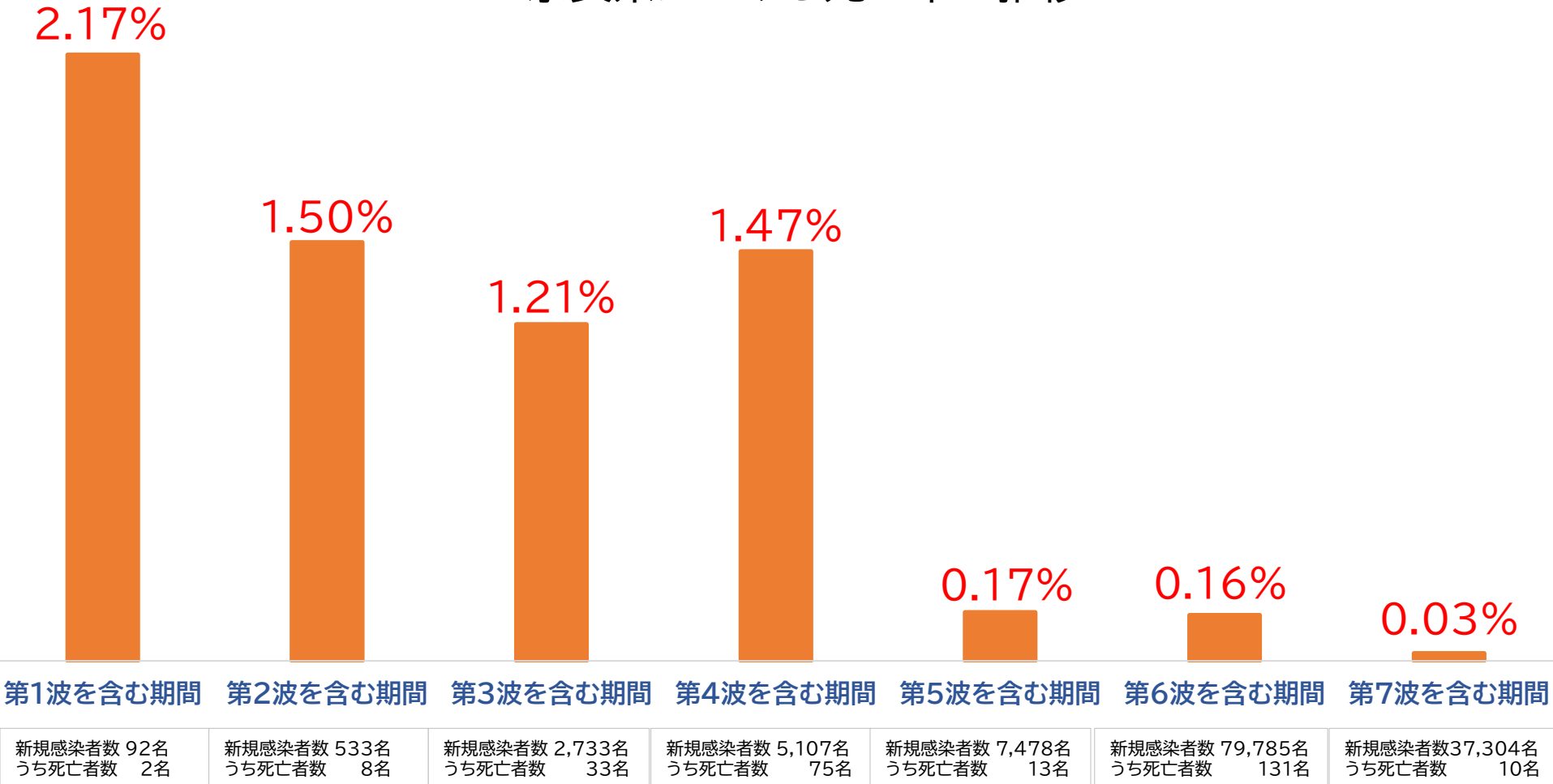


※第7波を含む期間は令和4年8月2日時点の数値

※表示単位未満を四捨五入して表示しているため、計算値が一致しない場合がある

新規感染者に対する「新型コロナが直接の死因と認められた方」の割合(死亡率)は、第5波以降、低くなっています。

奈良県における死亡率の推移



※第7波を含む期間は令和4年8月2日時点の数値

※表示単位未満を四捨五入して表示しているため、計算値が一致しない場合がある

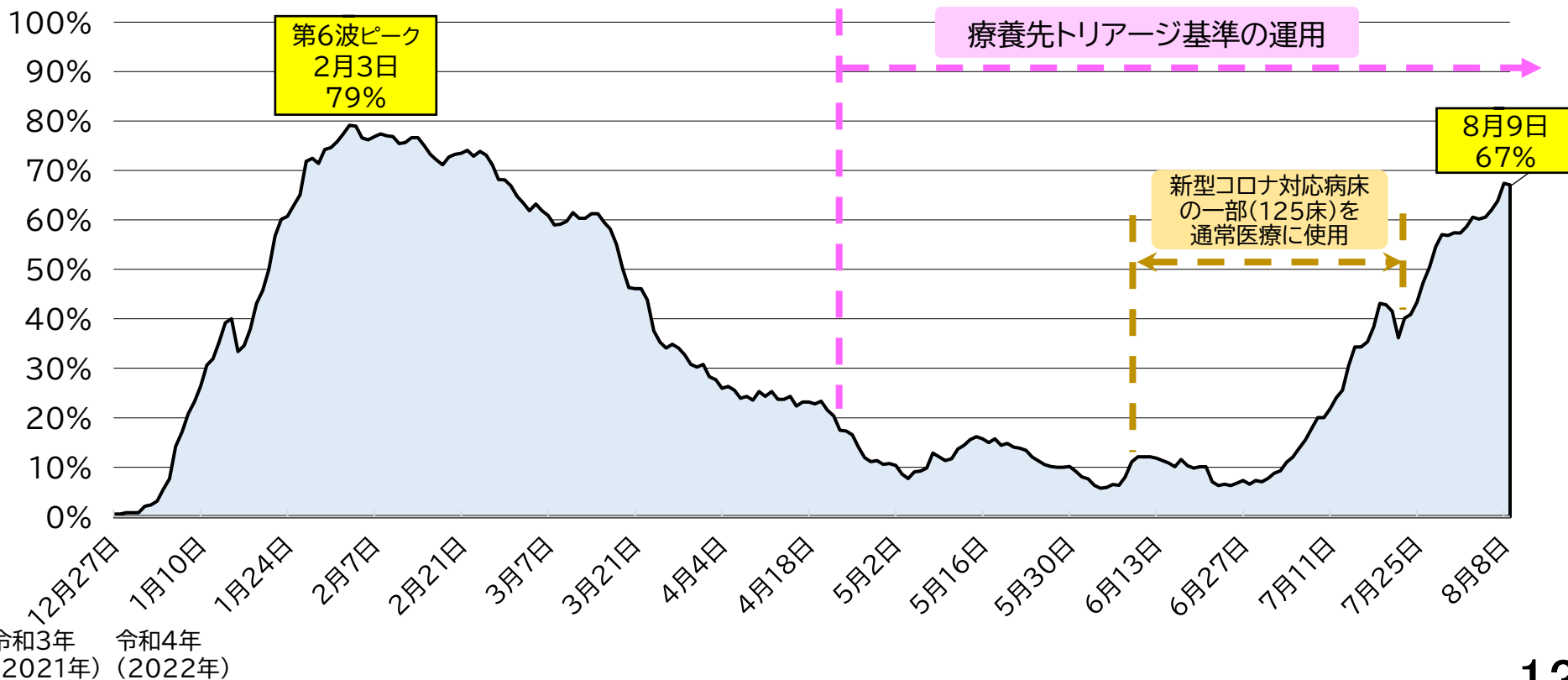
現在まで、奈良県が独自に定めた「療養先トリアージ基準(※)」を支障なく運用しています。

(※)療養先トリアージ基準において“入院していただく方”は、

- ①酸素投与をはじめとした新型コロナのための入院治療が必要な方と、
- ②妊婦、人工透析患者、外傷・持病の治療の必要な患者など、新型コロナ以外の傷病のための入院治療等が必要な方としています。

入院病床の占有状況

令和3年12月27日～令和4年8月9日



<参考>療養先トリアージの状況

「療養先トリアージ基準」運用前

令和3年12月27日～令和4年3月31日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

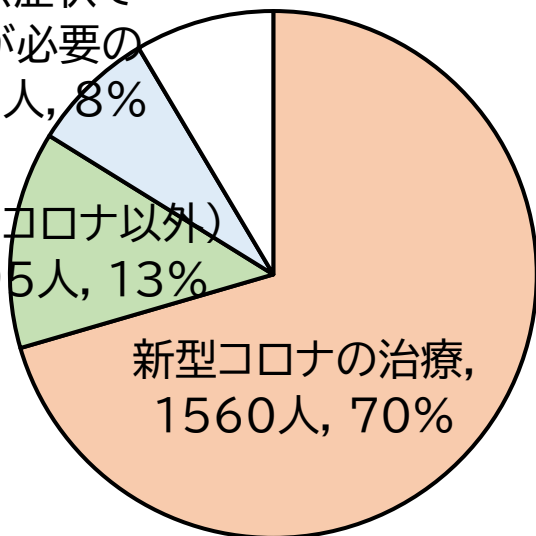
計 2,213人

その他,
189人, 9%

新型コロナ無症状で
即時の治療が必要の
ない方, 169人, 8%

基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 295人, 13%

新型コロナの治療,
1560人, 70%



「療養先トリアージ基準」運用後

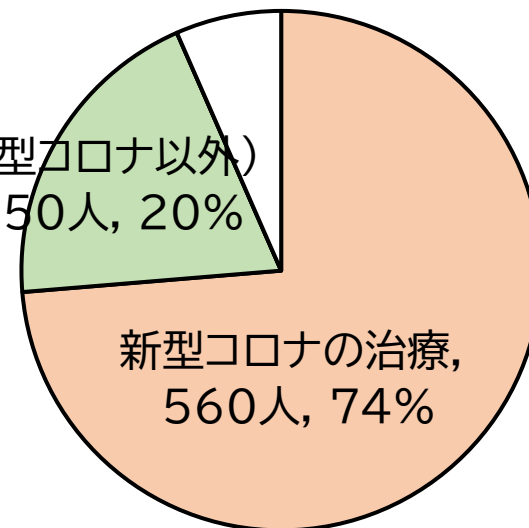
令和4年4月21日～7月31日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

計 760人

その他,
50人, 6%

基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 150人, 20%

新型コロナの治療,
560人, 74%



その他・・・陽性の子(入院)に付き添いが必要な場合の
陽性の親 等

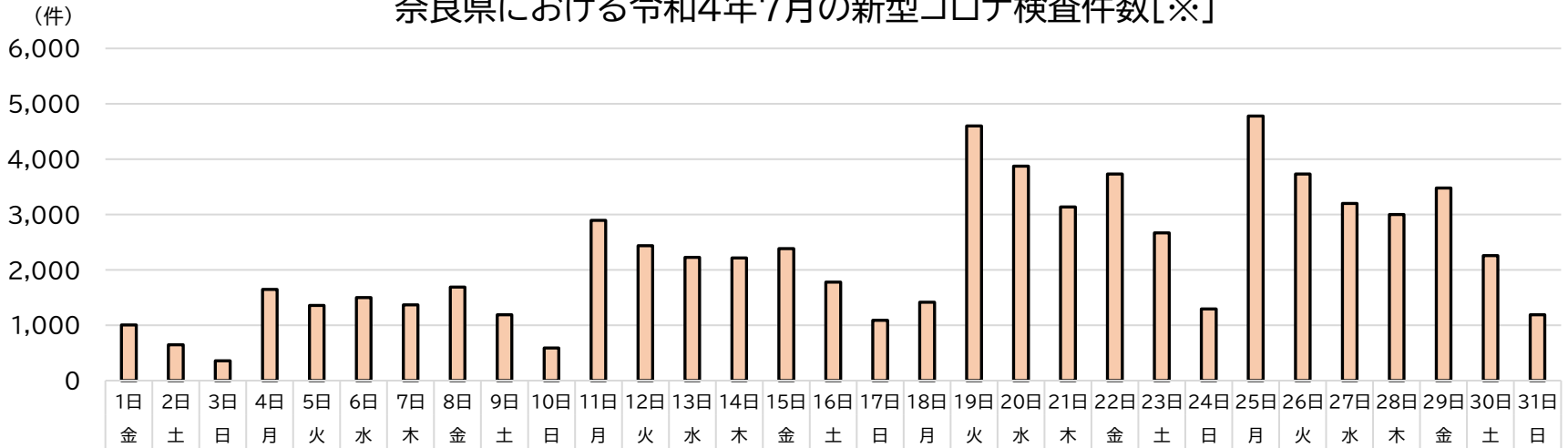
Ⅱ 現状への対処

1. 検査体制

外来診療・検査体制の強化

感染者の急増により、外来診療・検査のニーズが高まっています。

奈良県における令和4年7月の新型コロナ検査件数[※]



[※] 令和4年8月5日時点の厚生労働省・医療機関等情報支援システム[G-MIS]入力値 PCR検査、抗原定量検査及び抗原定性検査の計

今後も、県民の皆様にも、外来診療・検査を継続して提供できる体制を整えるため、医師会のご協力を得て、検査キットが不足する医療機関に対し、国から無償で譲渡される検査キットを、診療用として緊急的に供与[*]します。

また、医師会のご協力により、一部の医療機関において、症状が軽く重症化リスクの低い方(希望者)に、検査キットを配布[*]していただきます。

現在、医師会において、検査キットを配布していただける医療機関をとりまとめていただいております。準備が整い次第、配布を開始します。

[*]医療機関への緊急的な供与と希望者への配布は、あわせて約20万回分の予定

新型コロナウイルス検査促進事業の実施

お盆期間の帰省で移動の予定がある場合など、**無症状の方を対象に、無料で新型コロナの検査を受け付けています。**

○対象者

①無症状の方で、イベント・旅行・帰省等の社会経済活動を行われるにあたり陰性確認が必要な方

※帰省や旅行、大人数での会食、大規模イベントの事前検査にもご利用いただけます。

検査実績(令和4年7月1日～8月1日) 3,902件

②無症状の方で、感染リスクが高い環境にある等のため感染不安を感じる県民

検査実績(令和4年7月21日～7月25日) 3,579件

(令和4年7月26日～8月1日) 6,150件

(①、②のいずれも、濃厚接触の可能性のある方は対象外。)



○検査実施事業所

お盆期間のイベント・旅行・帰省等の移動前後の無料検査は、全国1万3千箇所以上の拠点で受け付けています(各都道府県のホームページ等に掲載)。

県内の無料検査の実施事業所(71箇所。うち8箇所は、お盆期間も無休。)については、下記URLで公表しています。

<https://nara-package.jp/>



※実施期間について、①は令和4年8月31日まで。②は令和4年7月21日から当面の間。実施期間に変更ある場合は、県ホームページ等でお知らせします。
※検査実績は、令和4年8月1日時点の速報値。

2. 保健所体制

保健所の対応

感染者の増加に対応するため、これまでから、保健所業務の外部委託や電話応答の自動化をはじめとして、保健所機能の維持に努めてきました。

<主な取組>

外部委託の推進

開始時期

①パルスオキシメーターの配送	R3.5.26～
②患者データベースシステムの導入	R3.5.26～
③自宅待機者・療養者のための電話相談窓口対応業務 ※令和4年3月18日より24時間対応(つながる窓口)	R3.6.21～
④感染症患者移送・オペレーション	R3.7.18～
⑤リーフレット(入院・入所待機、自宅療養される皆様へ)の配送	R3.9.10～
⑥感染者への一次接触・二次接触業務	R4.3.18～
⑦HER-SYS(ハーシス)への発生届データ入力業務	R4.4.28～

電話対応の自動化

電話の自動応答システム及び住民の質問対応を行うチャットボットの導入	R4.2.11～
-----------------------------------	----------

現在のオミクロン株(BA.5)は、「感染力が非常に強いものの、症状の軽い方が多く、重症化のリスクが低い」という特性のため、保健所では、入院治療が必要な方から優先して連絡させていただいています。

しかし、6月下旬以降の感染者の急増によって、症状の軽い方や重症化リスクの低い方に対し、保健所からの連絡に遅れが生じています。

そこで、追加の対応として、

① 保健所への応援体制をさらに充実させるとともに、

県庁等からの応援職員を順次増加させ、

8月3日からは 郡山保健所 26名

中和保健所 27名

計 53名 の応援体制

② 新型コロナに感染された場合に必要となる情報を、より早くお知らせできるよう、情報提供を強化しています。

新型コロナの外来診療・検査を行う医療機関の協力を得て、「検査結果が陽性になった患者様へ(次ページ)」を配付

新型コロナウイルス感染症 検査結果が陽性になった患者様へ

検査の結果が陽性となった方の情報は「発生届」として医療機関から管轄保健所に送られます。その後、県からパルスオキシメーター(酸素飽和度を測定する機器)とともに、自宅待機期間や濃厚接触者(同居家族等)についての説明、往診や電話診療先リストなどのご案内をお届けします。(奈良市については、一部取扱いが異なることがあります。)

現在感染が拡大しているため、保健所では緊急的に、重症化リスク※の高い方への連絡を優先して実施しており、そのため、それ以外の方や無症状の方への保健所からの連絡が非常に遅くなる場合があります。

ただし、次のような緊急性の高い症状がある場合は、診療を受けられた医療機関または下記にご相談ください。

※重症化リスクの例:70歳以上、悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI30以上)、妊娠、免疫不全等

次の場合は、診療を受けられた医療機関や下記連絡先にご相談ください

- 酸素飽和度(SpO2)が93%以下の方
- 以下の緊急性の高い症状がある場合

緊急の場合は119番を！

表情・外見	<ul style="list-style-type: none"> ・顔色が明らかに悪い※ ・唇が紫色になっている ・いつもと違う、様子がおかしい※ 	息苦しさ等	<ul style="list-style-type: none"> ・息が荒くなった(呼吸数が多くなった) ・急に息苦しくなった ・日常生活の中で少し動くと息があがる ・胸の痛みがある ・横になれない・座らないと息ができない ・肩で息をしている ・ゼーゼーしている
意識障害等	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼんやりしている(反応が弱い)※ ・もうろうとしている(返事がない)※ ・脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする 		

※はご家族がご覧になって判断した場合です。

次ページに続く

- ・このような症状がある場合、診療を受けられた医療機関か、後日送付する「新型コロナ自宅療養者等に対する往診、電話診療を用いた診療、オンライン診療システムを用いた診療にかかる医療機関リスト」に記載されている医療機関にご相談ください。
- ・医療機関と連絡がつかない場合は、**看護師等が対応する陽性者ご本人からの専用相談窓口(24時間)にご連絡ください(TEL:0742-85-1933 FAX:0742-33-3717)**

新型コロナウイルス感染症に関する各種ご案内<QRコード>

①陽性判定から療養終了までの流れ

②新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された方へ大切なご案内

- ・外出自粛のお願いについて
- ・療養期間中の健康観察について(療養証明書含む)
- ・陽性者の療養期間について
- ・濃厚接触者の自宅待機期間について
- ・オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定・行動制限について

③新型コロナウイルス感染症入院・入所待機、自宅療養される皆様へ

- ・入院・入所待機中、自宅療養中の方へ
- ・パルスオキシメーターの使い方
- ・ご家庭での健康状態の確認について
- ・生活支援が必要な方へ
- ・感染者と同居のご家族の注意点 など



奈良県

3. クラスタ対策

新型コロナ感染対策責任者による感染予防対策

第6波以降、新規感染者に占める10歳未満の割合が大幅に増加したこと、また、重症者に占める70代以上の割合が非常に多いことから、学校、保育所、高齢者施設等での感染対策、クラスター対策が重要です。

すでに、**新型コロナ感染対策責任者**の登録が完了し、責任者には、感染対策マニュアル等の実践責任者となって、**各施設で感染予防対策を励行していただいています。**

さらに、医療機関、高齢者施設の責任者等を対象に、感染症専門医による、それぞれの施設の特徴に合わせた「**新型コロナクラスター対策 緊急セミナー**」を開催しました(8月6日～8月8日)。

今後も、各施設での感染対策について、情報共有の機会を設け、責任者による感染予防対策を支援します。

新型コロナ感染対策責任者の登録状況

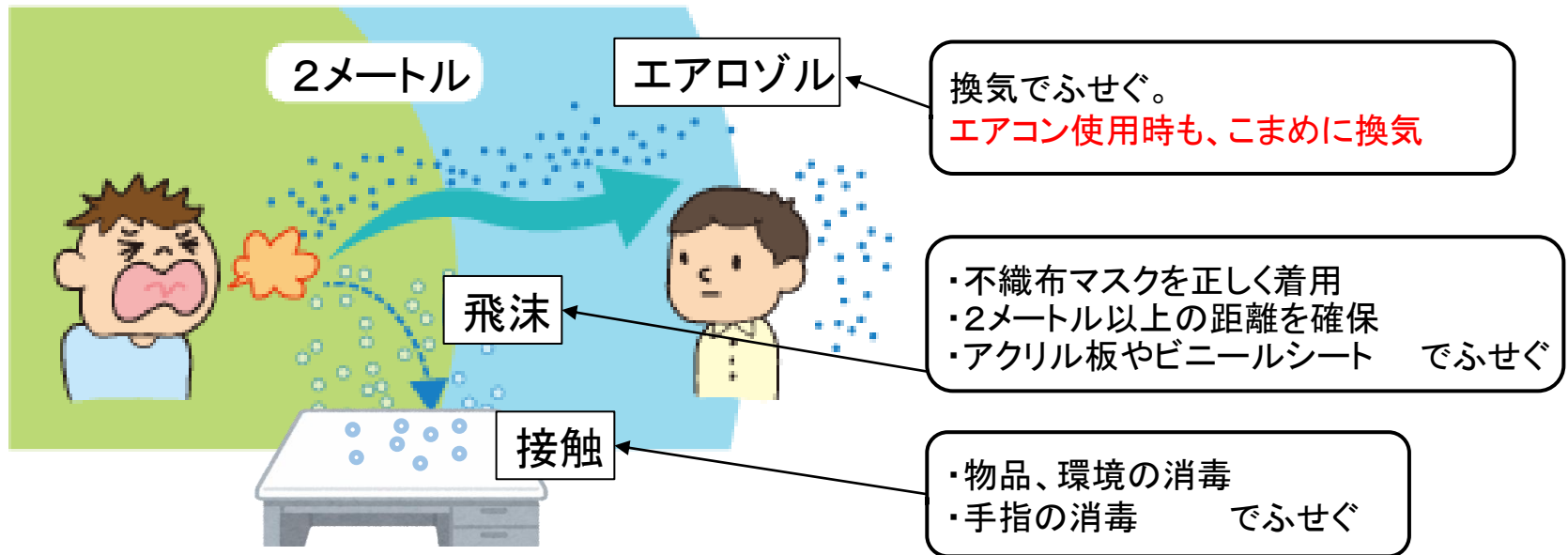
対 象	対象施設数(A)	登録数(B)	(B/A)
医療機関	75病院	75病院	100%
高齢者施設[入所(短期含む)]	654施設	654施設	100%
障害者(児)施設[入所]	40施設	40施設	100%
学校等	512施設	512施設	100%
保育所等	243施設	243施設	100%

※保育所等には、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設(計11施設)を含む。

暑い季節ですが、**基本的な感染防止策の徹底**をお願いします

①マスク ②**換気** ③消毒 ④距離

・これらの対策で、3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)を遮断しましょう



・発熱、倦怠感など少しでも体調が悪ければ外出を控えましょう

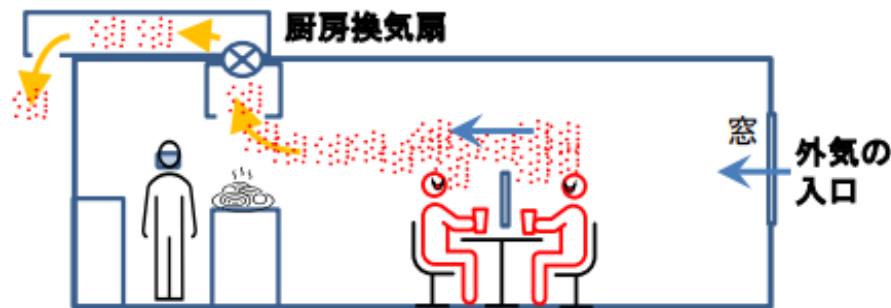
換気のご注意

クラスターを防ぐためにも、夏は特に、換気を心がけましょう
(通常のエアコンには換気機能がありません)

- 時間を決めて定期的に**2方向の窓やドアを開けて換気**を行いましょう
- サーキュレーターや扇風機は、開けた窓やドアに向けて**一方向で作動**させましょう
室内の汚染した空気を室外に出すイメージ。首振り機能を使うと、空中に存在するウイルスを室内に均等に分布させてしまうことになります。



- 換気扇がある場合、換気扇で排気し、反対側から外気を取り入れましょう

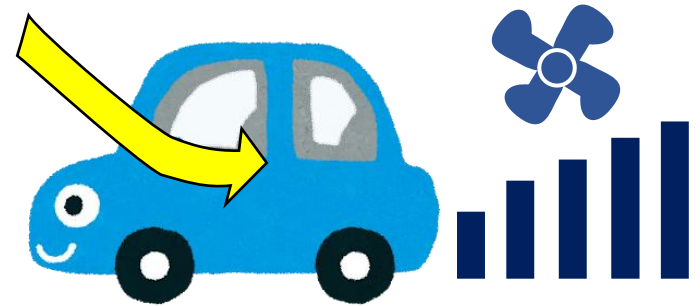


こんなところにもご注意

<車に乗るときは>

車は「**外気導入モード**」で、**最大風量の半分以上**に。

同乗者は離れた席に座り、
それぞれの窓を5センチほどあけましょう。



<空気清浄機の使用にあたっては>

感染予防に有効な可能性はありますが、換気の代わりになるものではありません。基本的には「換気」が最も重要で、空気清浄機は「補助的」な役割と考えて、**まずは換気を確実に行いましょう。**

4. ワクチン接種の推進

ワクチン接種の現状

- 現在、3回目接種、4回目接種（※）を実施しています。
（1・2回目接種についても、接種機会は確保されています。）
4回目接種者が大幅に増加する（7月20日 知事定例記者会見時48,912人→8月7日時点170,825人）一方、3回目接種（12～64歳）の接種率は、6割以下に留まっており、3回目接種率向上が課題です。
- 5～11歳の小児接種についても、引き続き、接種を進めています。
※4回目の接種対象者は、①60歳以上の者、②18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者、③医療従事者等及び高齢者施設等の従事者となっています。

【12歳以上】

3回目接種	接種者数（接種率）	
全体	845,835 人	(62.9%)
65歳以上	385,530 人	(91.8%)
12-64歳	456,828 人	(56.9%)

4回目接種	接種者数（接種率）	
全体	170,825 人	(12.7%)

【5～11歳】

1・2回目接種	接種者数（接種率）	
1回目	8,985 人	(11.6%)
2回目	8,343 人	(10.8%)

※接種済者数等は、ワクチン接種記録システム（VRS）の実績を基に県で整理。（内訳分については年齢不明者を除く）
※人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口を引用しています。 ※令和4年8月7日時点

ワクチン接種率向上に向けた取組

県では、接種率向上に向けて、情報発信の充実、接種機会の確保などの取組を行っています。

○情報発信の充実

- ・「いまなら。キャンペーン2022プラス」と連携した接種の検討を呼びかけ
- ・SNSや県民だより（7月号）での呼びかけ
- ・県HPに掲載しているワクチン接種に係るQ&Aを充実

○接種機会の確保

- ・**県広域ワクチン接種会場を9月も引き続き設置。（次頁参照）**
- ・mRNAワクチンよりも副反応が少ないことが期待される武田社ワクチン（ノババックス）を県広域ワクチン接種会場で使用
- ・市町村の接種会場へ県が確保した医師を派遣
- ・市町村や医療機関に対し、更なる接種機会の確保を依頼

○企業・学校への働きかけ

- ・企業に対し、その従業員の接種を働きかけるよう依頼
（併せて、接種しやすい職場づくり（ワクチン休暇の導入など）も依頼）
- ・県立高校や私立学校に対し、積極的な情報発信を依頼

県広域ワクチン接種会場の設置

- 県広域ワクチン接種会場について、引き続き、**9月も設置**します。（～9/10）
- また、現在、モデルナの予約が取りづらくなっていることから、**モデルナの接種日を計3日間追加**します。（8/22～24）
- 加えて、8/11～8/20の間、ノババックスの1回目接種も追加で行います。
- なお、上記新規日程の**予約は本日（8月10日）午後2時から開始**する予定です。

<接種会場> 奈良県文化会館

<予約方法> これまでと同様、予約サイトかコールセンターで申し込みが可能です。

●接種予約サイト

<https://vaccine-info-nara.org>



（受付時間 24時間）

●コールセンター

0570-02-0120

（受付時間 午前9時～午後5時）

※ただし、接種日は接種終了時間まで

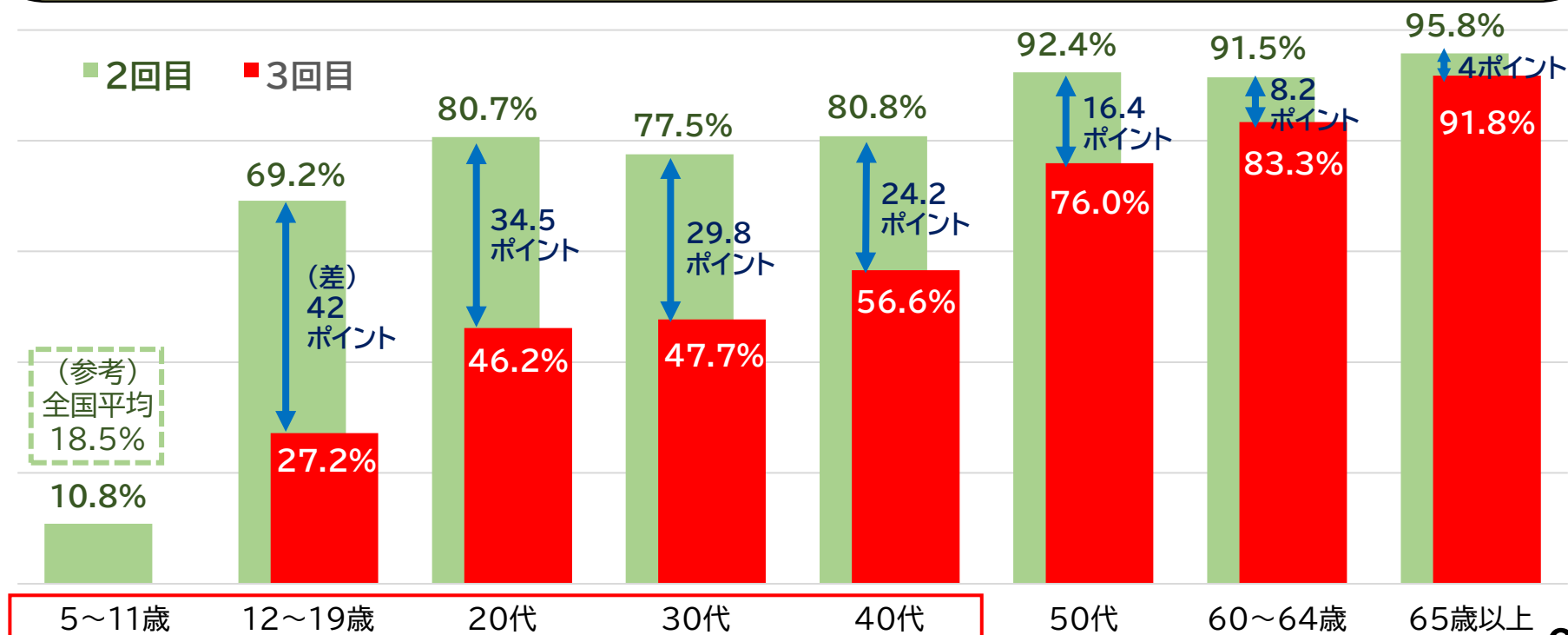
<今後の接種日程> □ 新規追加分

	モデルナ	ノババックス
	3・4 回目	2・3 回目
8/11 (木) ～8/13 (土)	○	○ +1回目接種
8/18 (木) ～8/20 (土)	○	○ +1回目接種
8/22 (月) ～8/24 (水)	○	—
8/25 (木) ～8/26 (金)	○	○
9/1(木) ～9/3 (土)	○	○
9/8 (木) ～9/10(土)	○	○

※なお、当日予約はコールセンターのみ受け付けています。

ワクチン接種について前向きな検討をお願いします

- 若年層（12歳～40代）の3回目接種率は、2～5割台に留まっています。
- 新型コロナウイルスに罹患すると、若い方であっても、重症化したり、倦怠感などの症状が長引いたりする可能性があります。
- ワクチン接種は、皆様ご自身を守るだけでなく、家族、友人、高齢者など、身近な大切な方を守る事にもつながりますので、**接種について前向きな検討をお願いします。**
- 小児接種（5～11歳）についても、引き続きご検討をお願いします。



※5～11歳の3回目接種は現時点で、認められていません。

※令和4年8月7日時点

Ⅲ 安心して過ごして
いただくためのお願い

リスクの低い場所では、多少リラックスして、できるだけ日常生活を維持

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。



(例えば)

- ・一人にいる時にはマスクを外す。
一人ですべての車を運転している時はマスクは不要
- ・同居家族内では過度な感染対策は不要
(かぜ症状がある時は、家族とすごす場所・時間を分け、
お互いマスクをつけ、換気・消毒をしましょう)
- ・外で距離が取れる場合はマスクを外す
- ・誰も触っていなければ消毒は不要

救急車の利用に関するお願い

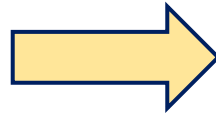
救急車を呼ぶべきか迷った時には、相談窓口をご利用ください

発熱などの症状がある方、
新型コロナウイルス感染に不安がある方



身近な医療機関に電話相談

身近な医療機関がない方



新型コロナ・発熱患者受診相談窓口
に電話相談(24時間)
TEL: **0742-27-1132**
FAX: 0742-27-8565

上記以外で、
救急車を呼ぶべきか迷っておられる方



奈良県救急安心センター
に電話相談(24時間)
TEL: **#7119**
TEL: 0744-20-0119

症状が重く、※
すぐに救急車が必要な方



救急要請
TEL: **119**



※ 重い症状の例

- ・顔色が明らかに悪い
- ・急に息苦しくなった
- ・くちびるが紫色になっている
- ・日常生活で少し動いたただけで息苦しい
- ・座らないと息ができない
- ・意識がない
- ・ぐったりしている
- ・けいれんが止まらない

新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮について

— 差別や偏見をなくしましょう —

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方をはじめ、医療従事者やそのご家族、その方々が属する施設・機関などに対する差別的な言動や、SNSでの誹謗中傷、また、ワクチン接種に関する差別など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、差別、偏見、いじめなどは決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをのまないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。